

1. 学力に関する課題

～平成27年度全国学力・学習状況調査より～

○国語

説明文の読み取り。
問題の指示や文を作るときの決まりに従って考えをまとめて書くこと。

○算数

問題の答や実験結果から「なぜそうなったのか？」という疑問を持ち、その理由について考え、わかったことを算数の法則・原理・用語を使って論理的に説明すること。

○理科

グラフや実験結果からわかることを読み取り、科学的用語を使って論理的に説明すること。

○学習・生活習慣

難しいことでも失敗を恐れず挑戦すること。
友だちの前で自分の考えや意見を発表すること。

2. 学ぶ力のとらえ方

(だ) 大好き学びよく考える子

学ぶ力の要素

A: 基礎的な知識・技能

- ・聴き合う力、話し合う力
- ・四則演算の定着
- ・教科書がすらすら読める
- ・学年の漢字の読み書きができる

B: 思考力・判断力・表現力

- ・自分の考えを持つ
- ・コミュニケーション力

C: 学習規律・学習意欲・学習習慣

- ・家庭学習
- ・自主学習
- ・読書習慣
- ・学習規律
- ・生活習慣

【自他への信頼感・自己肯定感】

(い) 生き生き体
たかましい子

(さん) Thank you
感謝の気持ちやさしい子

3. 改善の状況

- 朝の学習・カワセミ教室（補充学習）・漢字検定の取組等を通して、基礎基本が定着してきた。
- ホワイトボードを活用して、自分の考えをまとめ、自分の言葉で表現（発表）する姿が見られるようになってきた。
- 2学年合同学習を通して、子ども同士が教え合い学び合う姿が見られるようになってきた。
- 予習を取り入れた家庭学習の習慣が定着しつつある。

4. 今年度の指導目標

- ◎すべての学年で『こうか授業術5箇条』を定着させる。
- ◎合同学習を通して子ども同士の学び合いを深め、協働して課題解決できる力を育てる。
- ◎予習を活かした「一人学び」の習慣化と子ども同士の意見交流を中心とした授業改善を進める。

5. 学ぶ力向上へのアプローチ

Aへのアプローチ・・・少人数を活かしたきめ細かな指導

- ・すべての学年で「こうか授業術五箇条」の取組を定着する。
- ・評価テストで子どもの個々の課題を把握し、一人一人に合った課題を与え、個別指導を充実する。
- ・朝の学習で「がってんプリント」や漢検プリントを活用し、基礎基本を定着する。
- ・ホワイトボード、デジタル教科書、「とびだせ！わくわく学習室」(DVD)等の視覚教材を活用し、わかりやすい授業を工夫する。
- ・カワセミ教室（補充学習）を活用して、学習の補充をする。

Bへのアプローチ・・・子ども同士の意見交流を中心とした言語活動の充実

- ・予習や合同学習を通して、子ども同士の話し合い活動を活性化し、学び合いを深める。
- ・ホワイトボードに自分の考えをまとめ、子ども同士の意見交流を進める。
- ・「ひまわり詩集」暗唱の取組や「読み聞かせ」などの読書活動を推進する。
- ・「こうかの学ぶ力向上事業」を通して授業改善に取り組み、授業公開や授業研究会で実践交流を行う。
- ・野外観察発表会など、全校で調べたことを発表する場を多く設定する。

Cへのアプローチ・・・望ましい学習・生活習慣の確立

- ・生活習慣振り返りカードにより数値目標を設定し、意識付けをする。(低:30分 中:40分 高:60分)
- ・「家庭学習の手引き」を通して家庭と連携し、予習を取り入れた家庭学習を充実させる。
- ・親子読書の呼びかけなど、読書習慣の定着を図る。

教職員力・自己肯定感・基本的生活習慣・地域との連携

6. 学ぶ力向上の検証

- 学校評価（教師、保護者、児童）
- 校内研究（授業）実践による見取り
- つまずき診断テスト・甲賀市学力テスト
- 全国学力学習状況調査の結果分析